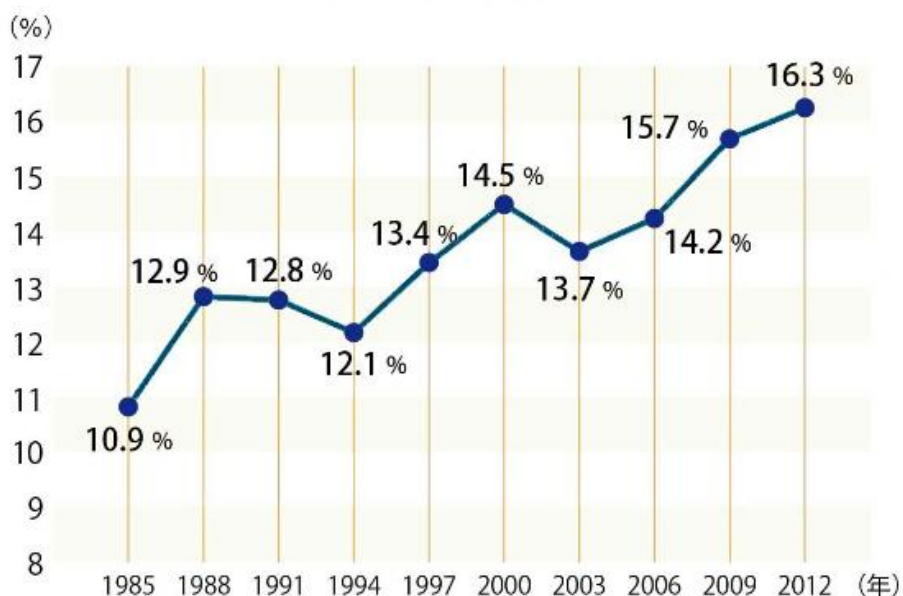


ご要望のあった資料について

ご要望1 貧困家庭（定義・所得等）の割合は？

子どもの相対的貧困率の推移



厚生労働省の国民生活基礎調査を基に作成した子どもの相対的貧困率の推移グラフ。

1985年に10.9%であった子どもの貧困率は、2012年に16.3%と、過去最高に達しました。

子どもの貧困率とは、相対的貧困の状態にある18歳未満の子どもの割合を指します。

国民を可処分所得の順に並べ、その真ん中の人の半分以下しか所得が無い状態を相対的貧困と呼びます。

※日本財団ホームページより

ご要望2 おやつ代、教材費等、個別に設定している費用について

	施設数	実費設定施設数	平均月額
児童館・センター 児童クラブ	44	39	1,890円
子どもプラザ	49	20	1,286円
計	93	59	1,588円

※ おやつや教材費等について、各施設が設定している「実費」を集計

※ 教材費等には、個人の所有となる工作材料や誕生日会などの費用も含まれます。

ご要望3 子ども・子育て支援事業計画の、
 子ども相談室の主な相談内容とその件数
 妊産婦・乳幼児健康相談の主な相談内容とその件数
 障害者相談支援センターの「障害児」に関する主な相談内容とその件数

子ども相談室の主な内容とその件数（平成27年度の相談件数 443件）

	育児 全般	発達 全般	発達 障害	園の 関係	学校 関係	虐待	医療 関係	その他
相談室での相談	78	41	38	29	38	5	5	55
室の園訪問での相談	保護者の育児・メンタル相談、子どもの発達等の相談 計154件							

妊産婦・乳幼児健康相談の主な内容とその件数

（平成27年度 妊産婦に関する相談件数 79件、乳幼児に関する相談件数 7,027件）

	健診後 の指導	体の 問題	心の 問題	アト ピー	発達	身体 発育	離乳 食	親子 関係	疾病	その他
妊産婦	3	54	26							
乳幼児	210		1	38	691	6,659	3,011	63	165	602

※1人で複数内容を相談する場合があるため、個別事業実施状況報告書に記載の件数(実数)と一致しない。

障害者相談支援センターの「障害児」に関する主な相談内容とその件数

（平成27年度の相談件数 3,067件）

福祉サービスの 利用等	障害や症状 の理解	健康・医療	不安の解消・ 情緒安定	保育・教育	家族・人間関係
6,535	2,315	2,067	3,336	1,034	3,001
家計・経済	生活技術	就労関係	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
1,404	2,817	2,116	1,120	158	4,444

※個別事業実施状況報告書は、障害児に関して相談した人数を計上しているが、相談内容については障害者に関する支援内容との合算で集計している。

※1人で複数内容を相談する場合がある。